【県道重茂半島線の向渡橋が津波により被災】

■平成２３年３月１９日（土）
７時３０分　第３０回災害対策本部会議
□関係機関、各部からの情報収集
□各部の災害対応の指示・確認

■平成２３年３月１９日（土）
１７時００分　第３１回災害対策本部会議
□仮設トイレ２１台を新里トレーニングセンターへ運搬（東北地方整備局）
□田老地区の避難所へ通信車を配置予定（東北地方整備局）
□飛行機による海上捜索（海上自衛隊）
□シャワー提供のサービスが可能（海上自衛隊）
□重茂地区の県道重茂半島線の向渡橋の復旧は、２１日に完了予定（宮古地域振興センター）
□応急仮設住宅は、準備が出来次第、入居が可能（宮古地域振興センター）
□大型客船で入浴サービスが可能（宮古地域振興センター）
□漂流物、拾得物の違いを明確に示されたい。（会議参加機関から宮古警察署へ意見）
□重茂地区、重茂漁協、後藤医院が通電（東北電力）
□アパート入居者への通電対応を考えていく。（東北電力）
□安否状況は、児童の死亡１人、行方不明２人、教職員の行方不明２人、遺体数２７５体
□重茂地区、田老地区、津軽石地区の避難所で陸上自衛隊が給食支援（市民生活部）
□津軽石小学校で入浴支援（市民生活部）
□自動車の撤去台数は、１，０００台を超えた。（松山地区、藤原埠頭、宮古湾温泉マース北側）（都市整備部）
□水道復旧状況は、県立宮古病院とほほえみの里付近が通水、復旧率は７６％ぐらいである。（上下水道部）
□２０日は中里地区から鍬ヶ崎小学校まで、崎山小学校、崎山中学校、国民休暇村の付近を作業予定（上下水道部）
□備蓄の燃料は、ガソリン３５キロリットル、軽油１３キロリットル、灯油１８キロリットル（産業振興部）
□田岡商店（太田地区）、カメイ（国道１０６号バイパス）、宇佐美、中屋石油（黒森町地区）、ミヤコ石油（津軽石地区）で２，０００円を上限に給油可能（産業振興部）

■平成２３年３月２０日（日）７時３０分　第３２回災害対策本部会議
□関係機関、各部からの情報収集
□各部の災害対応の指示・確認

■平成２３年３月２０日（日）１７時００分　第３３回災害対策本部会議
□避難者５，９００人、遺体数２９０体（１５体増）、田老地区で火葬場開始
□ホームページを開設（東北地方整備局）

□米軍ヘリの物資輸送拠点は、コープケミカル敷地内（陸上自衛隊）
□津軽石小学校、重茂地区、グリーンピア三陸みやこで給食支援（陸上自衛隊）
□津軽石小学校で男女各１セットの入浴支援（陸上自衛隊）
□海上捜索で遺体を発見（海上自衛隊、海上保安庁）
□遺体搬送は湾内が宮古市、外洋が釜石市へ（海上保安庁）
□民間輸送も考えながら、物資輸送の流れをつくりたい。（宮古地域振興センター）
□重茂地区の県道重茂半島線の向渡橋の復旧は遅れ気味である。（宮古地域振興センター）
□田代川水門を開放したい。（宮古地域振興センター）
□田代川水門付近を集中的に瓦礫の撤去作業を進めたい。（陸上自衛隊）
□運転免許更新は、盛岡運転免許センターアイーナでの手続き（宮古警察署）
□宮古警察署、田老第一中学校、恵風支援学校が通電（東北電力）
□保久田－末広町間は瓦礫撤去後の作業（東北電力）
□今月末の復旧を努力目標（ＮＴＴ）
□自民党の大島副総裁が来庁
□三陸鉄道宮古駅－田老駅間で１日３便の運行を開始（総務企画部）
□県北バス山田－大槌間で１日３便（総務企画部）
□コミュニティＦＭが２２日に放送開始（窓口は企画課）、９時３０分～１３時、１４時～１６時（総務企画部）
□罹災証明書は税務課が対応、印鑑が無い場合はサインで可能（総務企画部）
□仙北市が２１日に第２回目の炊き出し支援、宿泊施設に２泊３日で２，０００人の受入れを用意（市民生活部）
□応急仮設住宅は、３月２５日からの募集を目指す。（都市整備部）
□愛宕地区、西ヶ丘地区（さくら公園）、グリーンピア三陸みやこに応急仮設住宅４３２戸の建設を予定（都市整備部）
□水道復旧地域は、中里団地地区、崎山地区（上下水道部）
□燃料は、ガソリン３５キロリットル、軽油１９．２キロリットル、灯油３２．６キロリットル（産業振興部）

■平成２３年３月２１日（月）７時３０分　第３４回災害対策本部会議

□国道４５号は対面通行が可能（三陸国道事務所）
□築地地区、高浜地区の歩道の瓦礫撤去を行う。（三陸国道事務所）
□重茂南地区の捜索を継続（陸上自衛隊）
□田代川水門の瓦礫撤去を行う。（海上保安庁）
□物資輸送はトラック協会と連携を図りたい。（宮古地域振興センター）
□重茂地区の県道重茂半島線の向渡橋の復旧は２４日を目標（宮古地域振興センター）
□避難所運営に人的支援、生活困窮者のニーズ調査が必要、医師巡回を引き続き行う。（宮古地域振興センター）
□山田町で事務所荒らしが発生（宮古警察署）
□１１９番通報は、ＮＴＴドコモ１回線、ａｕ２回線を確保し、救急・救助体制が可能（宮古消防署）
□藤原埠頭内で車両火災、バッテリーショートが原因か？（宮古消防署）
□鍬ヶ崎地区の復旧作業、田老第一中学校は通電したが施設の調査が必要、重茂地区の追切は電源車での対応（東北電力）

□停電戸数は発災時６３，７４２戸が現在１４，２９７戸、市役所は付近の瓦礫撤去後の３月２５日を目標（東北電力）
□水道復旧状況は、田老地区の樫内で給水開始（上下水道部）
□上下水道部本部の携帯電話番号は０９０－６７８９－５４７４（上下水道部）
□田老地区で重機、火葬場等の燃料が不足しており、優先的に対応したい。（産業振興部）
□県立高校の合格発表は、３月２２日１５時に県立宮古高校で市内各高校を発表（教育部）
□火葬場の能力は１日に３体（田老総合事務所）
□ＮＴＴドコモが復旧し、川井地区で通話が可能（川井総合事務所）

■平成２３年３月２１日（月）１７時００分　第３５回災害対策本部会議
□避難者は５，９００人から６，１００人に増加、遺体数３０６体、火葬場は２４日まで満杯、常安寺でも火葬を行う。
□部隊の規模を縮小する。（陸上自衛隊）
□あまくさが物資を積載し、下関市から入港（陸上自衛隊）
□本日の遺体発見はなし。（陸上自衛隊）
□支援物資の搬入出は自衛隊が主力、民間は補足的（宮古地域振興センター）
□開門した水門は開閉可能を確認（宮古地域振興センター）
□磯鶏地区の五右衛門の水門は６時から１８時の時間帯に開門し、夜間は監視員を配置（宮古地域振興センター）
□停電戸数は１４，２９７戸から１３，９４７戸へ（東北電力）
□市役所の復旧作業は明日２２日から行う。（東北電力）
□熊野神社配置の高圧電源車は高浜地区へ移動（東北電力）
□日出島地区への電源供給を検討中（東北電力）
□コミュニティＦＭの試験放送を開始、山田町豊間根、崎山地区、蟇目地区まで電波が届く。（総務企画部）
□２３日から岩手県と合同で宮古地区合同庁舎１階に窓口を開設（市民生活部）
□車両撤去は火災防止のため、バッテリーターミナルの取り外しを業者に委託、燃料の抜き取りは難しい。（都市整備部）
□家屋撤去は市が実施するが、撤去を拒まれたら本人が撤去する。（都市整備部）
□水道復旧状況は、はまゆり、浄土ヶ浜パークホテルの受水槽への給水対応（上下水道部）

■平成２３年３月２２日（火）７時３０分　第３６回災害対策本部会議
□重茂地区の姉吉などの崖下を捜索（陸上自衛隊）
□米軍の輸送を予定（陸上自衛隊）
□宮古市民総合体育館シーアリーナ、グリーンピア三陸みやこの部隊は宿営場所を移動（陸上自衛隊）
□黒田町のひまわり荘（１０世帯中８世帯入居）で火災が発生し全焼、１人死亡（宮古消防署）
□高浜地区、金浜地区は電源車での対応（東北電力）
□日出島ルートの電源復旧方法を検討する。（東北電力）
□宮古小学校、鍬ヶ崎小学校にポータブル衛星携帯電話による特設公衆電話を開設（ＮＴＴ）
□ＮＴＴ東日本宮古支店の庁舎は、交換機が破損し復旧が厳しい状況（ＮＴＴ）
□津軽石地区、重茂地区、田老地区の復旧の目途立たず。（ＮＴＴ）

□コミュニティＦＭ放送のガソリンスタンドに関する情報で一部混乱を招く。（総務企画部）
□２３日から岩手県と合同で宮古地区合同庁舎１階へ窓口を開設（市民生活部）
□車両撤去台数は現在１，１２０台、金浜地区は後２００台で満杯（都市整備部）
□水道復旧状況は、藤原地区、磯鶏地区は復旧、赤前地区の漏水箇所が大きい。（上下水道部）
□あまくさが軽油を８時から１１時３０分の間で搬入（産業振興部）
□本日、県立高校の合格発表（教育部）

■平成２３年３月２２日（火）１７時００分　第３７回災害対策本部会議
□遺体数３１５体
□静岡県からリエゾンが交代（東北地方整備局）
□路面クラック補修（三陸国道事務所）
□住民ニーズの把握が必要である。（陸上自衛隊）
□外洋で収容した遺体は釜石市へ搬送としていたが、緯度、経度で判断し宮古近海の遺体は宮古市へ搬送（海上保安庁）
□内陸部市町村職員の応援を検討（宮古地域振興センター）
□重茂地区の県道重茂半島線の向渡橋の復旧は２４日の完成予定（宮古地域振興センター）
□防潮堤決壊部分は土のう袋で応急復旧（宮古地域振興センター）
□金浜地区、高浜地区で一部通電の予定（東北電力）
□県北１０６急行バスが増便（総務企画部）
□ＪＲ山田線は宮古駅－盛岡駅間が３月２８日に運行再開の予定（総務企画部）
□宮古消防署への避難者は、山口小学校へ移動させたい。（市民生活部）

【宮古消防署内で連日にわたり自衛隊と消防隊が活動計画を打ち合わせた】

□銀河丸で風呂、食事を２００人に提供（市民生活部）
□鍬ヶ崎地区の道路規制は本日１３時から１７時まで実施、明日２３日は８時から１７時３０分まで実施予定（都市整備部）
□水道復旧状況は、向町地区、大通地区、鍬ヶ崎小学校、熊野町地区は復旧、金浜地区、高浜地区で送水試験、赤前地区は１９時から翌日８時の時間帯を断水し漏水を調査（上下水道部）
□ガソリン１．２キロリットル、軽油６７．３３キロリットル入った。（産業振興部）
□明日２３日、小中学校長会議を開催（教育部）

■平成２３年３月２３日（水）７時３０分　第３８回災害対策本部会議
□遺体数は、宮町地区の勤労青少年体育センターに１６０体（身元確認済１４０体）、千徳体育館に４１体（身元確認済３５体）、県立宮古北高校に９５体（身元確認済７６体）
□国道４５号築地地区、高浜地区で瓦礫の撤去作業（三陸国道事務所）
□重茂地区で発災後の市の対応に不満の声（陸上自衛隊）
□市は復興、まちづくりの方向性を示すべき（陸上自衛隊）
□米軍ヘリによる物資輸送時の離着陸に伴う注意喚起は宮古消防署が担当（陸上自衛隊）
□鍬ヶ崎地区を潜水士が捜索を行う。（海上保安庁）
□岩手県副知事が来宮（宮古地域振興センター）
□本日から岩手県と合同で宮古地区合同庁舎１階に窓口を開設（宮古地域振興センター）
□宮古市以外で自殺者の情報、心のケアが重要（宮古警察署）
□緊急援助隊は帰還する方向で調整（宮古消防署）
□停電戸数１３，９４７戸が１２，８４２戸へ（東北電力）
□ＩＳＤＮ、フレッツ光を除き、通信施設が復旧（ＮＴＴ）
□築地地区、愛宕地区で消毒作業を実施（保健福祉部）
□応急仮設住宅入居希望者の受付を開始（都市整備部）
□家屋の形が残っている瓦礫には手を付けない方針（都市整備部）
□水道復旧状況は、はまゆり、樫内地区が復旧、赤前地区の漏水調査は２４時間体制で実施（上下水道部）
□被災事業者に復興の取り組みの動き（産業振興部）

【治安維持のパトロールを強化するため待機する警察車両】

■平成２３年３月２３日（水）１７時００　第３９回災害対策本部会議分
□遺体数３２４体
□路面クラック補修（三陸国道事務所）
□宮古地区で４体、田老地区で３体の遺体を収容（陸上自衛隊）
□米軍でドラム缶５０本（うち宮古市分３０本）を藤原埠頭へ輸送（陸上自衛隊）
□重茂地区の炊出し支援部隊を撤収し、宮古小学校へ移動（陸上自衛隊）
□鍬ヶ崎地区を潜水調査し、湾内に家屋、車両が沈んでいる。（海上保安庁）
□市民相談に５０件（宮古地域振興センター）
□内陸部で被災者を２泊３日で一時的に受入れる。（宮古地域振興センター）
□物資運搬はヤマト運輸（宮古地域振興センター）
□避難者のニーズ調査を行う。（宮古地域振興センター）
□グリーンピア三陸みやこへ応急仮設住宅２６０戸を着工（宮古地域振興センター）
□治安維持のためパトロールを強化（宮古警察署）
□藤原地区、愛宕地区は復旧、市役所の復旧は３月２６日を見込む。（東北電力）
□ＮＴＴ宮古局が調整中のため、宮古－盛岡間の発着信が不可能（ＮＴＴ）
□避難所は、昨日５，８００人が本日５，２００人で６００人の減（市民生活部）
□重茂地区は漁協中心の自治組織を解散し、地区ごとの対応とする。連絡拠点は漁協とする。（市民生活部）
□藤原地区で消毒作業を実施（保健福祉部）
□宮古地区合同庁舎の市民相談窓口に福祉課、社会福祉協議会職員も対応（保健福祉部）
□山田町民からの応急仮設住宅の入居申し込みも受付ける。（都市整備部）
□応急仮設住宅申込みの取り扱いについて、県へ統一的見解を示すよう申し入れ（都市整備部）
□雇用促進住宅は、６か月しか入居を認めないとのこと。県から延長の働きかけを願う。（都市整備部）
□家屋の形が残っている瓦礫には手を付けない方針（都市整備部）
□公道の車両撤去は終了、撤去台数は１，３００台（都市整備部）
□水道復旧状況は、赤前地区の漏水箇所は発見できず。今後、断水なしで調査を進める。（上下水道部）
□樫内地区は応急的給水、田老地区は被災していない場所への送水は可能、藤の川－高浜間の本管の漏水調査は歩道の瓦礫撤去後となる。（上下水道部）
□緊急車両用の燃料は確保できている。（宮古消防署で常時４キロリットル備蓄）、市内ガソリンスタンドは独自ルートで仕入れを確保しているようだ。（産業支援センター）
□文部科学省で学校再開の調査を行う。（教育部）
□田老総合事務所への市道の瓦礫撤去作業。摂待地区６人の行方不明者は遺体で発見（田老総合事務所）
□山田町民の遺体３体を火葬（川井総合事務所）

■平成２３年３月２３日（木）１８時００分
□東北総合通信局から衛星携帯電話１０台、据付け１０台の提供を受ける。

■平成２３年３月２４日（木）７時３０分　第４０回災害対策本部会議
□内陸への移住者の希望をとりたい。（宮古地域振興センター）
□避難所生活のアンケートを実施するので市の協力を頼む。（宮古地域振興センター）
□避難所内の自治形成のため、代表者を決めた方がよいのではないか。（宮古地域振興センター）

□治安維持のため２４時間体制で警らを行う。（宮古警察署）
□第二中学校避難所で灯油の盗難被害（宮古警察署）
□重茂地区の南側の対策を進める。（東北電力）
□市役所本庁舎は２５日に通電予定（東北電力）
□東北電力宮古営業所管内の停電戸数は１２，５５６戸（東北電力）
□ＮＴＴ宮古局は試験中、田老地区の復旧は目途が立たず。（ＮＴＴ）
□東北総合通信局から無線機の貸出について希望調査あり。衛星携帯電話１０台、衛星固定電話１０台の借受けの決定により、各部に対する希望を照会（危機管理課）
□応急仮設住宅は２８日が申し込みの締め切り（都市整備部）
□水道復旧状況は、復旧率９０％、赤前地区の漏水調査を進める。（上下水道部）
□藤の川地区から高浜地区にかけての調査は、国道の瓦礫撤去が必要（上下水道部）
□教育委員会議を本日１３時から行う。（教育部）

■平成２３年３月２４日（木）１７時００分　第４１回災害対策本部会議
□遺体数３２９体、身元不明の遺体数５５体
□水道復旧調査のため、瓦礫撤去を明日２５日から行う。（三陸国道事務所）
□民生支援部隊は重茂地区から宮古小学校へ移動して活動（陸上自衛隊）
□宮古湾及び外洋で潜水調査（海上保安庁）
□河川内に車両が沈んでいる場合、捜索はするが引き上げは不可能（海上保安庁）
□水門稼働調査を実施、手動での動作を確認（宮古地域振興センター）
□応急仮設住宅は２５日に着工（宮古地域振興センター）
□拾得物が増えてきている。（宮古警察署）
□重茂地区の南側は電源車で通電対応（東北電力）
□市役所本庁舎は明日２５日に通電試験を実施、本作業は２５日を予定（東北電力）
□ＮＴＴ田老局舎の復旧は４月頃（ＮＴＴ）
□他団体からの支援申出については、技師、保健師等の人的支援を要請する方針
□教職員の行方不明者は１人で、新聞報道は誤りである。
□罹災証明書を一時発行停止（本日、１８人ぐらい発行済み）
□資源ゴミ収集の車両を可燃ゴミ収集に活用していく。（市民生活部）
□岩手県災害救助法説明会の開催が２６日～２８日ごろの見込み。（保健福祉部）
□在宅高齢者の健康調査を実施していく。（保健福祉部）
□八幡平市で入居希望者の受入れについての申出あり。（都市整備部）
□水道復旧状況は、９０％台の復旧率（上下水道部）
□応急仮設住宅の申し込みは１９件（田老総合事務所）
□田老地区の火葬場は、３炉を運用している状態（田老総合事務所）
□川井地区の火葬場は、市外からの遺体を受入れ（川井総合事務所）

■平成２３年３月２５日（金）７時３０分　第４２回災害対策本部会議
□グリーンピア三陸みやこの応急仮設住宅への電力、食事提供の検討を要す。（陸上自衛隊）
□宮古の船が石巻市で回収された。（海上保安庁）
□窃盗事件が増えている。（宮古警察署）
□宮古市の停電戸数は４，８３６戸（東北電力）
□宮古－盛岡間が通話可能、重茂地区、田老地区、赤前地区の復旧の目途立たず。（ＮＴＴ）

【人海戦術で懸命の遺体捜索を展開する自衛隊員】

□盛岡市の特別養護老人施設へ１５人を移送（保健福祉部）
□２６日からＪＲ山田線舘合踏切の復旧工事を実施（都市整備部）
□水道復旧状況は、鍬ヶ崎地区の給水ポイントを増やして欲しいとの要望あり。（上下水道部）
□県立宮古北高校での医療班がグリーンピア三陸みやこへ移動して活動（田老総合事務所）

■平成２３年３月２５日（金）１７時００分　第４３回災害対策本部会議
□重茂地区の千鶏を潜水調査し、車両１４台を発見（海上保安庁）
□遺体１体を収容（海上保安庁）
□宮古信用金庫本店に通電（東北電力）
□２８日から市役所本庁舎３階で窓口業務を再開（市民生活部）
□水道復旧状況は、高浜地区で漏水個所を発見（上下水道部）

■平成２３年３月２６日（土）７時３０分　第４４回災害対策本部会議
□瓦礫の撤去作業を引き続き行う。（三陸国道事務所）
□瓦礫の中から毒劇物等のボンベを発見したら、自衛隊、岩手県警察へ相談（陸上自衛隊）
□重茂地区の千鶏を引き続き捜索（海上保安庁）
□支援室を強化する。（宮古地域振興センター）
□運転免許証の再交付は、３月２８日から４月８日までの月・水・金曜日に発行を行う。（宮古警察署）
□重茂地区の電力復旧には３０本の建柱が必要（東北電力）
□市内の停電戸数５，０００戸（倒壊家屋を含んでいるので実質半数の戸数か？）（東北電力）
□赤前地区の小堀内、重茂地区のＮＴＴ局舎の復旧は来週中に目途をつけたい。（ＮＴＴ）

□田老地区のＮＴＴ局舎の復旧は４月末を目途（ＮＴＴ）
□東副大臣が来宮
□市役所本庁舎３階で２８日から窓口業務を再開（市民生活部）
□土・日曜日のゴミ収集は規模を縮小する。（市民生活部）
□２６５体火葬、宮古地区の火葬場は２７日に休み、田老地区の遺体安置所は田老公民館へ（市民生活部）
□鍬ヶ崎地区の通行規制は土・日曜日も継続（都市整備部）
□水道復旧状況は、高浜地区で一部通水、崎山地区の松月は未復旧、鍬ヶ崎地内に給水栓１０か所を設置（上下水道部）
□新里トレーニングセンターの集積所はパンク状態（新里総合事務所）

■平成２３年３月２６日（土）１７時００分　第４５回災害対策本部会議
□遺体数３３２体
□田老第一中学校の瓦礫撤去（陸上自衛隊）
□重茂地区の石浜で車両２台を発見したが、遺体は発見されず。（海上保安庁）
□内陸部への一時移住に７０人が希望（宮古地域振興センター）
□夜間の警らのため、市委託事業者について情報提供を願う。（宮古警察署）
□宮古地区のＮＴＴ局舎から田老方面へのケーブル切断が著しい。（ＮＴＴ）
□２８日からシステム稼働に伴い、総合窓口課は市役所本庁舎３階へ（危機管理監）
□山本市長は菅総理大臣に電話で状況を報告（危機管理監）
□県北１０６急行バスは９便に増便（総務企画部）
□ＪＲ山田線宮古駅－盛岡駅間は１８時１１分から再開、明日２７日から１日３往復で運行予定（総務企画部）
□国から家屋の撤去方針が示された。（都市整備部）
□水道復旧状況は、高浜地区が復旧、田老地区の樫内まで復旧、鍬ヶ崎地区は厳しい状況（都市整備部）
□青森県職員が１２人応援（新里総合事務所）

【国から家屋撤去の方針が示され急ピッチに作業を進める】

■平成２３年３月２７日（日）７時３０分
第４６回災害対策本部会議
□国道４５号築地地区、高浜－金浜間の瓦礫を撤去（三陸国道事務所）
□ヘリによる被災状況の視察を午前に消防関係者、午後に広報担当者で実施（陸上自衛隊）
□国の方針を市町村に周知、県と市の整合性を図る。（宮古地域振興センター）
□治安維持に努める。（宮古警察署）
□宮古駅前－末広町間を重点に戸別復旧（東北電力）
□市内の停電戸数は約５，０００戸（東北電力）
□重茂地区から赤前地区の小堀内間のケーブル復旧作業（ＮＴＴ）
□赤前地区の小堀内は一部で通話が可能（ＮＴＴ）

□山本市長が９時からＮＨＫの日曜討論に生出演（危機管理監）
□罹災証明書は３月２６日から発行（総務企画部）
□２８日から住民基本台帳システムが稼働（市民生活部）
□水道復旧状況は、高浜地区から金浜老人福祉センターまでの復旧作業を行う。（上下水道部）
□浄土ヶ浜パークホテル、日立浜地内に給水車（上下水道部）

■平成２３年３月２７日（日）１７時００分　第４７回災害対策本部会議

□遺体数３４６体（１４体増）、宮古地区が２２９体で身元不明者２６体、田老地区が１１７体で身元不明者１９体
□ヘリによる被災状況の視察を明日２８日に実施予定（陸上自衛隊）
□ＭＰが夜間警戒を実施（陸上自衛隊）
□本日の遺体発見なし。（海上保安庁）
□国道１０６号下平トンネルで１０台ぐらいの事故、消防が出動するもケガ人なし。（宮古警察署）
□末広町の大越電気が電力復旧（東北電力）
□漁協ビルへの通電、重茂地区の復旧のための建柱を計画する。（東北電力）
□重茂地区から赤前地区の小堀内間のケーブル復旧作業（ＮＴＴ）
□赤前地区の小堀内は一部で通話が可能（ＮＴＴ）
□アルバムや位牌など個人の財産は自衛隊が避難所に持ち込み、避難所で保管することで対応する。（危機管理監）
□行方不明者リストは、住民基本台帳システムの稼働により、住基データを基に行方不明者の再調査を行う。（総務企画部）
□北海道知事選挙の不在者投票を４月４日から４月６日の８時３０分から１７時に実施（総務企画部）
□義援金の受付は、口座を開設する方向で調整中（総務企画部）
□鍬ヶ崎地区の路上に家屋があり、道路復旧に支障あり。（都市整備部）
□水道復旧状況は、愛宕地区、光岸地地区、漁協ビルは復旧、金浜地区の復旧作業を進める。（上下水道部）
□軽由１４キロリットル入る。（今後、同じペースで入ってくる見込み）（産業振興部）
□カメイガソリンスタンド（国道１０６号バイパス）で３，０００円まで入れることができるとの情報あり。（産業振興部）
□横沢冷泉で被災者を対象として、月・水・金曜日に送迎付きで入浴無料招待（川井総合事務所）
□明日２８日から部長会議を１６時から、災害対策本部会議を１７時からとする。（危機管理監）

■平成２３年３月２８日（月）１７時００分　第４８回災害対策本部会議

□遺体数３５０体（田老地区４体増）、宮古地区が２２９体、田老地区が１２１体
□瓦礫の撤去作業を実施した。（三陸国道事務所）
□基礎に乗っていない家屋は法律により撤去可能と解釈、鍬ヶ崎地区、田老地区を集中的に瓦礫の撤去作業を行う。（陸上自衛隊）
□避難者からのニーズがあれば、激励音楽会を開催したい。（陸上自衛隊）
□米軍作業船（クレーン船）が３月２８日に宮古へ到着、鍬ヶ崎地区で作業を予定（海上保安庁）
□宮古消防署で開催していた広域対策会議を今夜から宮古地区合同庁舎で開催するとともに、宮古市側からは出席しない。（宮古地域振興センター）
□陸上自衛隊の宿営場所を宮古消防署から宮古地区合同庁舎へ移す。（宮古地域振興センター）

□昼間からの泥酔者あり。心のケアが必要（宮古警察署）
□重茂地区の北側、南側に電源車で対応中（東北電力）
□鍬ヶ崎地区の通電計画を設計中（東北電力）
□赤前地区の小堀内、重茂地区が１４時に復旧（ＮＴＴ）
□田老地区は４月末の復旧見込み、戸別の電話線の張り直しが必要（ＮＴＴ）
□明日２９日から、災害対策本部会議に宮古市消防団長が参加（危機管理監）
□道路復旧状況は、３１日まで中央通、末広町の路上のごみ撤去を重点的に行う。（都市整備部）
□自衛隊へ重機の協力（都市整備部）
□瓦礫集積場所が不足、現場での焼却処理ができないか、県の検討を願う。（都市整備部）
□水道復旧状況は、金浜地区、鍬ヶ崎地区の通水試験、遺体捜索作業により中断（上下水道部）
□高台、浄土ヶ浜パークホテルへの給水車対応（上下水道部）
□田老総合事務所前の瓦礫撤去は、明日２９日の午前で完了（田老総合事務所）
□河川の瓦礫処理は、しばらく続行（田老総合事務所）
□広域対策会議を３月２８日から宮古地区合同庁舎へ移動（再編）（危機管理監）

■平成２３年３月２９日（火）１７時００分　第４９回災害対策本部会議
□遺体数３５７体（７体増）
□リエゾンが名古屋地方整備局に交代（東北地方整備局）
□田老地区、築地地区、金浜地区の瓦礫の撤去作業は明日３０日の午前中で終了し、磯鶏地区へ移動（三陸国道事務所）
□遺体２体を発見、拾得物５０件（陸上自衛隊）
□鍬ヶ崎地区の作業で機械力がほしい。（陸上自衛隊）
□米軍作業船が３月３０日に鍬ヶ崎地区で潜水捜索（海上保安庁）
□明日３０日に第１回目の内陸への一時移動に５２人を予定（宮古地域振興センター）
□金浜地区の防潮堤の盛土作業は１週間（宮古地域振興センター）
□大型水門の資材調達、医療班の調整（宮古地域振興センター）
□市内の戸別送電の作業（東北電力）
□重茂地区の北側、南側へ建柱作業、電源車での対応中（東北電力）
□鍬ヶ崎地区の通電計画を設計中（東北電力）
□漁協ビルへの通電作業が難航（東北電力）
□田老地区のＮＴＴ局舎の復旧作業（ＮＴＴ）
□第７、第８方面隊が応援し田老地区の交通整理（宮古市消防団）
□田老地区の瓦礫置場－田老野球場付近に県有地あり。（県に対し林務担当との調整を願う）（都市整備部）
□水道復旧状況は、重茂地区の里で一部作業中（上下水道部）
□金浜地区、鍬ヶ崎地区、田老地区の高台は給水車での対応（上下水道部）
□軽油１４キロリットル入る、（田老地区７キロリットル・作業用重機７キロリットル）（産業振興部）
□ドラム缶ストック分の灯油は、カメイのタンクローリーで避難所へ配送（産業振興部）
□ランドセル１５０個、リュックサック１２０個の寄贈を受ける。（教育部）

■平成２３年３月３０日（水）１７時００分　第５０回災害対策本部会議
□遺体数３６２体（５体増）

【愛宕地区に応急仮設住宅の建設が始まる】

□避難所の移行計画は、生活支援活動と関連するので調整したい。（陸上自衛隊）
□自衛隊の音楽隊は、グリーンピア三陸みやこの開催について調整（陸上自衛隊）
□田老地区の小堀内で洋上捜索の要望あり。（海上保安庁）
□第１回目の内陸への一時移動に５１人（宮古地域振興センター）
□愛宕地区に応急仮設住宅８２戸を建設予定（宮古地域振興センター）
□避難所の移行にあたっては、空間の確保と市内輸送ステムの構築を願いたい。（宮古地域振興センター）
□破傷風感染予防に注意、山田町で２例あり。（宮古地域振興センター）
□明日３１日、藤の川地区の丸光付近で遺体捜索の予定（宮古警察署）
□市内の戸別送電作業、通電依頼が殺到（東北電力）
□重茂地区の音部で建柱作業（東北電力）
□国道４５号の交通整理に８６人が出動（宮古市消防団）
□第１分団から第９分団は３１日で夜警を終了、以後５つの分団で巡回を継続（宮古市消防団）
□現行４５か所の避難所を体育館等の指定避難所１９か所に移行し、最終的に総合体育館に集約したい。（市民生活部）
□水道復旧状況は、金浜ー八木沢方面の高台に通水、点検後に鍬ヶ崎地区の魚市場へ給水、重茂地区の石浜は電源車によりポンプが稼働し給水が可能（上下水道部）
□県立宮古工業高校が浸水被害につき、県立宮古商業高校、県立宮古水産高校で授業を行う。（教育部）

■平成２３年３月３１日（木）１７時００分　第５１回災害対策本部会議
□遺体数３６８体（６体増）、不明４２体

□国道４５号の歩道部分の瓦礫撤去（三陸国道事務所）
□津軽石地区で１体の遺体を発見（陸上自衛隊）
□明日１日に遺体捜索、生活支援（陸上自衛隊）
□米軍による海岸上空を確認（陸上自衛隊）
□田老地区の小堀内でゴムボートによる洋上捜索（海上保安庁）
□崎山地区の大沢、日出島で捜索要望があり調整をする。（海上保安庁）
□物資配分、避難所支援（宮古地域振興センター）
□金浜地区の防潮堤、大型水門を調整（宮古地域振興センター）
□藤の川地区での遺体発見なし。（宮古警察署）
□重茂地区の追切以北は４月３日ごろ、千鶏は４月６日ごろに復旧の見込み。（東北電力）
□宮古漁協が通電（東北電力）
□国道４５号の交通整理に８６人が出動（宮古市消防団）
□第１分団から第９分団は３１日で夜警を終了、以後５つの分団で巡回を継続（宮古市消防団）
□宮古市消防団第１６分団から大沢海岸、日出島、カントリークラブゴルフ場の下、宿、中の浜の海岸捜索の要望あり。（危機管理監）
□水道復旧状況は、鍬ヶ崎地区の仲町の有限会社はしば付近まで通水（上下水道部）
□水産物の処理は、田老地区の樫内へ搬入（産業振興部）

■平成２３年４月１日（金）１７時００分　第５２回災害対策本部会議
□遺体数３７０体（２体増）
□国道４５号の歩道部分の瓦礫撤去（三陸国道事務所）
□遺体捜索で田老地区１体、山田町で１体を発見（陸上自衛隊）
□明日２日は遺体捜索、生活支援（陸上自衛隊）
□洋上捜索（海上保安庁）

【避難所で入浴時間の割当表が作成された】

□物資配分、避難所支援（宮古地域振興センター）
□５日に商工関係者の相談会を開催（宮古地域振興センター）
□大型水門を開放する方向で検討（宮古地域振興センター）
□築地地区の東北電力のビルが被災し、太田センターで支払いが可能（東北電力）
□重茂地区の通電作業中（電源車対応）（東北電力）
□鍬ヶ崎地区の魚市場は４月１１日に通電予定（東北電力）
□応急仮設住宅への電話を設置（ＮＴＴ）
□水道復旧状況は、浄土ヶ浜ターミナルビルまで通水、浄土ヶ浜パークホテル施設内の漏電調査、鍬ヶ崎地区の下町、蛸の浜町地区の瓦礫撤去の状況を見ながら通水調査（上下水道部）

■平成２３年４月２日（土）１７時００分　第５３回災害対策本部会議
□遺体数３７７体（７体増）、不明４８体
□陸上自衛隊の堀部陸総長が４月１日に死去、黙祷をささげたい。（山本市長）
□健康には留意されたい。（山本市長）
□国道４５号の歩道部分の瓦礫撤去（三陸国道事務所）
□遺体捜索で田老地区、鍬ヶ崎地区で５体の遺体を発見（陸上自衛隊）
□閉伊川－重茂半島での空中捜索による遺体の発見なし。（陸上自衛隊）
□明日３日は遺体捜索、生活支援（陸上自衛隊）
□宮古市消防団第１６分団から依頼のあった潜水士は手配できず。（海上保安庁）
□崎山地区の大沢－カントリークラブゴルフ場で、箱メガネによる捜索での遺体発見なし。（海上保安庁）
□市町村との連絡調整、応援要員・物資の調整（宮古地域振興センター）
□魚市場等の事業者と打合せを実施（宮古地域振興センター）
□防波堤の応急復旧、大型水門の復旧作業（宮古土木センター）
□重茂地区の南側・北側は電源車で対応（東北電力）
□田老地区、鍬ヶ崎地区は瓦礫の撤去に合わせ建柱場所を調査（東北電力）
□ＮＴＴ局舎の通信ビルの復旧作業を実施（ＮＴＴ）
□津軽石地区、金浜地区、鍬ヶ崎地区で自衛隊とともに遺体捜索（宮古市消防団）
□田老地区は、明日３日からガードマンによる交通整理（宮古市消防団）
□平成２３年度の宮古市消防演習は中止（宮古市消防団）
□水道復旧状況は、鍬ヶ崎地区で漏水処理、別ルートで配管を検討（上下水道部）
□金浜地区、浄土ヶ浜パークホテルは明日３日まで自衛隊の給水車で対応、月曜日から通水が可能（上下水道部）
□３月３１日、４月１日に７か所の田老地区内の避難所を１か所に統合し、グリーンピア三陸みやこのアリーナ内に７００人弱、ホテル内に１泊５，０００円で最大３００人の避難者の移動を４日に始めたい。（田老総合事務所）
□道路上の遺体捜索はすべて終了（田老総合事務所）

■平成２３年４月３日（日）１７時００分　第５４回災害対策本部会議
□遺体数３７８体（１体増）、身元不明２７体、５日に市へ引き渡し予定
□国道４５号の歩道部分の瓦礫撤去を継続（三陸国道事務所）
□遺体捜索で鍬ヶ崎地区、山田町で５体の遺体を発見（陸上自衛隊）
□岩泉町小本－重茂間の集中捜索を明日４日も実施（陸上自衛隊）
□１１日以降、体制の変更を予定、宮城県へ応援（陸上自衛隊）
□鍬ヶ崎地区の瓦礫撤去の際、家庭の廃家電を持ち込む方がいるので注意願いたい。（陸上自衛隊）
□洋上を捜索したが遺体の発見はなし。明日４日も引き続き実施（海上保安庁）
□物資配分、避難所支援（宮古地域振興センター）
□宿泊施設への一時移動は４月８日に市へ説明予定であったが、県庁で先行してチラシを配布した。申込受付などの対応協議の上、明日４日に連絡する。（宮古地域振興センター）
□中小企業相談会を５日から実施（宮古地域振興センター）
□金浜地区の防波堤の応急復旧は今週に完了予定（宮古土木センター）
□遺体収容は田老地区で１体、山田町で７体（宮古警察署）
□車上狙い１件認知、引き続き遺体検死、防犯活動、交通整理（宮古警察署）

□電力復旧状況について、Ａ３用紙の図面にて説明、重茂地区の北側の追切に４０本建柱し４日に通電の予定、重茂地区の南側は７日に通電の目標、磯鶏駅前は２本建柱し４日に通電の予定、磯鶏地区のホテル近江屋への通電設計に着手（東北電力）
□ＮＴＴ局舎と戸別のケーブルの点検作業を実施（ＮＴＴ）
□秋田県からの緊急援助隊は４日をもって撤退、以後は盛岡市と宮古市で対応（宮古消防署）
□避難所への情報提供は２日をもって終了、以降は広報号外で周知する。（危機管理監）
□市営住宅、雇用促進住宅は４日に７０世帯入居、当初２００世帯の予定であったが、ガス水道設備の不良により物件数が減少、今後は応急仮設住宅での対応（都市整備部）
□民間コンサルの情報で、浸水面積１，４００ｈａ、うち宅地を２割とすると２８０ｈａ、これまでの区画整理面積から勘案すると市のみの対応は困難（都市整備部）
□水道復旧状況は、鍬ヶ崎地区の漏水調査を継続、田老第一小学校裏の田の沢で通水（上下水道部）
□断水地区は、鍬ヶ崎地区の下町、山根町地区、蛸の浜町地区７０戸、金浜地区６戸、重茂地区の里４戸、川代１０戸、田老総合事務所右側１０戸の合計１００戸（上下水道部）

■平成２３年４月５日（火）１７時００分　第５５回災害対策本部会議
□財務省黒川政務官がグリーンピア三陸みやこ、港湾施設、車両集積場、新里トレーニングセンターを視察した。（山本市長）
□遺体収容３８６体（８体増）
□国道４５号の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去（三陸国道事務所）
□田老地区の路面清掃（三陸国道事務所）
□道路照明の調査が終了し、明日６日以降は撤去作業（三陸国道事務所）
□遺体の発見はなし。（海上保安庁）
□田老地区の小堀内でゴムボートによる捜索を行うも遺体発見には至らず。（海上保安庁）
□鍬ヶ崎地区と山田町で合計３体の遺体を発見（陸上自衛隊）
□藤原地区で海底からの引き揚げ作業実施、引揚げ数量は不明（釜石運輸局）
□市町村との連絡調整、応援要員の調整（宮古地域振興センター）
□中小企業等経営合同相談会に１７社が参加、このうち法律相談は２社（宮古地域振興センター）
□明日６日、沿岸市町村復興期成同盟会に知事が出席（宮古地域振興センター）
□明日６日以降、宮古消防署と協議の上、水門を開放（宮古土木センター）
□検問、検視、捜索を実施（宮古警察署）
□市役所前の信号機の復旧には５か月から６か月の時間を要す。（宮古警察署）
□明日６日は重茂地区の南側を商用電源に切り換える。（東北電力）
□鍬ヶ崎地区の魚市場付近と赤前地区で建柱（東北電力）
□戸別送電は崎山地区、磯鶏地区、藤原地区で７件、津軽石地区で５０件、本町－市役所間の街路灯は電線が切れているため復旧までに相当の期間を要す。（東北電力）
□重茂地区、市街地で戸別の復旧作業を実施、山田ビルは復旧（ＮＴＴ）
□鍬ヶ崎地区の上町－仲町間で１００ｔ、下町－蛸の浜町－山根町間で１００ｔの漏水あり。（上下水道部）

■平成２３年４月７日（木）１７時００分　第５６回災害対策本部会議
□遺体数３８８体（２体増）、身元不明の１４体を火葬
□磯鶏地区、高浜地区、津軽石地区の国道４５号の歩道の瓦礫、土砂の撤去（三陸国道事務所）

□高浜地区は２日～３日で終了、他の地区は４日～５日で終了の見込み。（三陸国道事務所）
□来週以降は、ガードレールなどの安全施設を補修（三陸国道事務所）
□宮古地区での遺体の発見はなし。（海上保安庁）
□本日は、主に田野畑村の島越で巡視艇及びゴムボートによる遺体捜索を実施（海上保安庁）
□遺体捜索と生活支援を実施、３体の遺体を収容（陸上自衛隊）
□グリーンピア三陸みやこで、自衛隊の音楽隊による慰問演奏に、避難者など３００人が聴衆（陸上自衛隊）
□藤原地区で車両１台、瓦礫、ブロックの引揚げ、昨日までに車両２０台、トレーラー１台を引揚げた。今後は港湾施設、構造物の調査を平行して実施（釜石港湾事務所）
□市町村との連絡調整、応援要員の調整（宮古地域振興センター）
□内閣府から避難所の生活環境の状況調査について通知があり、毎週１回程度の調査を自衛隊に依頼した。（宮古地域振興センター）
□グリーンピア三陸みやこへの応急仮設住宅の建設にあわせ、宮古商工会議所（スタンプ会）によるマーケット設置について協議（宮古地域振興センター）
□今後は津軽石川、田代川などの河川の瓦礫などの撤去を進める。（宮古土木センター）
□検問、検視、捜索、治安維持を実施。宮古市内の国道４５号の信号がすべて復旧するまでには６か月の時間を要する。（宮古警察署）
□光岸地地区の海舟、巨人荘周辺に通電（東北電力）
□東北電力ビル裏の築地二丁目の送電準備に着手（東北電力）
□鍬ヶ崎地区の中心部の建柱が完了、ホテル近江屋、宮古港出張所の受電作業を実施（東北電力）
□戸別送電は、藤原地区、高浜地区、津軽石地区で５０件、末広町－中央通－大通間は電力メーターが浸水のため戸別送電が難航（東北電力）

【東日本大震災から１か月後の田老地区を上空から撮影】

【鍬ヶ崎地区の被災状況を上空から撮影】

□築地地区、大通地区、磯鶏地区、津軽石地区、重茂地区の事業所、一般住宅の通信ケーブルの復旧作業を５００人体制で実施（ＮＴＴ）
□市役所は、９日の土曜日と１０日の日曜日も窓口業務などを行う。（危機管理監）
□市内の９９％で給水が復旧、残りは重茂地区の里で４世帯、川代で１０世帯、田老地区の館が森で２世帯～３世帯、浄土ヶ浜パークホテルのみ（上下水道部）
□消防庁長官の視察は、８日から１１日に延期（宮古市消防団）
□明日８日の会議は、各機関の来週の予定をペーパーで提出してほしい。（危機管理監）

■平成２３年４月８日（金）１７時００分　第５７回災害対策本部会議
□本日の地震による巡回、歩道、盛土、法面の瓦礫処理（三陸国道事務所）
□来週で瓦礫処理が終了の予定、以降は付帯施設の復旧（三陸国道事務所）
□洋上捜索、海上自衛隊が田老ー宮古湾の洋上を捜索、１０日に田老地区で活動（海上保安庁）
□田老地区で３体の遺体を発見（作業時のマスコミ対策が必要）（陸上自衛隊）
□停電に伴う給水支援（陸上自衛隊）
□遺体捜索、瓦礫撤去を田老地区で１週間ぐらい、鍬ヶ崎地区で１０日ぐらい（陸上自衛隊）
□１２日以降は体制を変更、生活支援は民間の復興とのバランスを見て活動を維持（陸上自衛隊）
□海域調査で車両１台、ブロック４個、コンテナ１個を引揚げ、明日９日以降は海面の測量（釜石港湾事務所）
□市町村との連携調整、避難所巡回、産業復興支援（宮古地域振興センター）
□１１日１８時に広域連絡会議、岩手県大震災復興委員会を、１５日に現地検討会を開催予定だが、臨時議会につき日程を検討（宮古地域振興センター）
□１１日、発災から１か月目に岩手県知事が釜石にて黙祷と「頑張ろう宣言」を実施（市も黙祷実施を検討）（宮古地域振興センター）
□地震による道路への落石あり。河川の瓦礫撤去、大型水門の復旧作業（宮古土木センター）
□応急仮設住宅２か所の建設に着手（宮古土木センター）
□停電に伴う信号消灯による交通事故あり。（宮古警察署）

□地震による停電対応、１５時３０分に市内が通電（東北電力）
□ＮＴＴ交換器はほぼ修復が完了、各地区で５００人規模により復旧作業に対応中（ＮＴＴ）
□昨夜のような津波注意報、警報発令の際、職員の参集場所を宮古消防署とすることで、経営会議で確認済み（危機管理監）
□貴重品以外の拾得物のデータベース化による周知を予定している。田老地区は田老公民館に一斉展示の予定（危機管理監）
□停電により休止した窓口業務を明日９日から再開（市民生活部）
□道路上のごみ回収のためトラックを運行（都市整備部）
□県立宮古病院より北側は配水池に水がたまり次第給水、津軽石地区は復電後に給水開始、鍬ヶ崎上町地区から先は今晩断水して配水池に水をためる。（上下水道部）
□鉄以外の瓦礫を砕く機械を導入（田老総合事務所）
□岩手県消防協会を通じて、ポンプ車１台、積載車４台の消防車両を配置（宮古市消防団）

■平成２３年４月１２日（火）１７時００分　第５８回災害対策本部会議

□国道４５号の藤の川地区、高浜地区、金浜地区の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去（三陸国道事務所）
□高浜地区の側溝蓋、転落防止柵の補修（三陸国道事務所）
□洋上からの捜索を実施したが、遺体の発見はなし。（海上保安庁）
□海上保安庁では県南に勢力を集中、宮古地区は２隻の体制（海上保安庁）
□山田町で１体の遺体を収容（陸上自衛隊）
□捜索・生活支援を実施（陸上自衛隊）
□市町村との連絡調整、避難所・物資関係の人的支援（宮古地域振興センター）
□中小企業経営相談会に７社、うち１社が法律相談（宮古地域振興センター）
□ワンストップ相談会に２１件、うち１件が法律相談（宮古地域振興センター）
□河川の瓦礫撤去（宮古土木センター）
□水門機能回復作業は８割から９割完了、残りは電動操作水門、ほとんどの水門は閉鎖状態で開放について宮古消防署と協議中（宮古土木センター）
□明日１３日、宮古地区で応急仮設住宅１３８戸の建設に着工（宮古土木センター）
□県外の医療チームは８団体（宮古保健所）
□避難所での医療ニーズに変化あり。今後の巡回医療のあり方について検討を要す。（宮古保健所）
□医療拠点や市内開業医での受診をサポートする移動手段などの検討について、市に要請あり。（宮古保健所）
□赤前地区の県立宮古工業高校付近で１体の遺体を収容（宮古警察署）
□大通－向町間で瓦礫の除去が進んだことから、電柱の建替えを進める。（東北電力）
□磯鶏地区のホテル近江屋、宮古港湾事務所に送電（東北電力）
□田老総合事務所－田中間は田老駅沿いに別ルートで建柱、数十本を準備（東北電力）
□宮古地区では検針が不能のため、電気料金の徴収ができない状態（東北電力）
□津軽石地区、重茂地区で通信ケーブルの復旧作業（ＮＴＴ）
□避難所の集約は、国民休暇村の避難者を移動、常安寺、熊野神社は施設管理者の意向を踏まえ当面は集約しない。（市民生活部）
□身元不明の遺体３体（総数２１体）、身寄りのない遺体１体を火葬した。他にも１２体～１３体の遺体あり。（市民生活部）